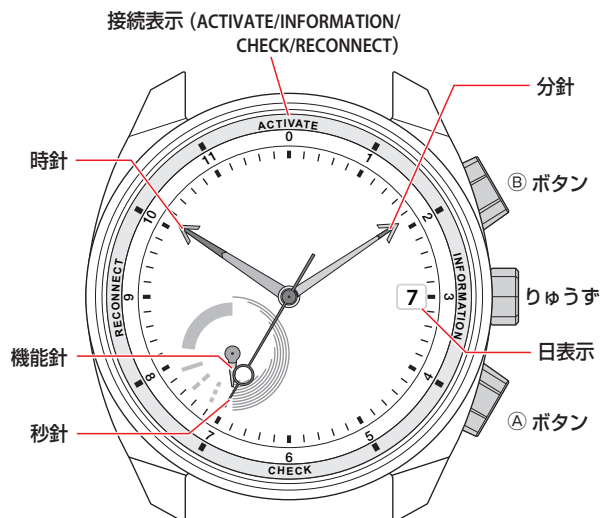


- ・この時計はソーラーパワーウォッチです。文字板を光に当てて、十分に充電された状態でお使いください。
- ・充電時間 / 仕様 / 操作の詳細は、Webマニュアルをご参照ください。

<https://citizen.jp/support/guide/html/w510/w510.html>

各部の名称



- ・お買い上げいただいた時計は、イラストと異なる場合があります。
- ・りゅうずの引き出し位置は2段階あります。



スマートフォンを接続する前に

この時計は、省電力通信技術 **Bluetooth Low Energy** を使用し、スマートフォンと接続します。接続には、スマートフォンに専用アプリ[CITIZEN Eco-Drive W510]をインストールし起動させ、ペアリング(登録)する必要があります。接続までの流れは、次のようになります。

- ・Bluetooth®のワードマークとロゴは、Bluetooth SIG, Inc. が所有する登録商標です。
- ・Androidは、Google Inc.の登録商標です。
- ・iOSは、Apple Inc.のOSの名称です。IOSは、Cisco Systems, Inc. またはその関連会社の米国およびその他の国における登録商標または商標であり、ライセンスに基づき使用されています。

接続できるスマートフォンについて

接続できるスマートフォン(Android OS 8.0/iOS 12.0に対応)や専用アプリについての情報は、次のサイトで確認できます。

<https://citizen.jp/support/guide/html/w510/w510.html>

専用アプリのインストール

専用アプリの起動

ペアリング(登録)

接続

切断

スマートフォンをペアリング(登録)する

時計とスマートフォンを接続するときは、まずペアリングを行います。

ペアリングを行う前に

- ・ペアリングを行うと、固有の情報(ペアリング情報)が時計とスマートフォンにそれぞれ保存されます。
- ・すでにペアリング情報が保存されている時計で、新たにペアリングを行うと、既存のペアリング情報は破棄され、新しいペアリング情報が保存されます。

ペアリングする

- ・ペアリングには、時計とスマートフォンの両方の操作が必要です。
- ・ペアリングは、およそ5秒で完了します。

スマートフォンの操作

1 アプリサイトから、専用アプリ「CITIZEN Eco-Drive W510」をインストールする

2 専用アプリを起動する

- ・アプリ画面は、ペアリングが完了するまで表示させたままにしておきます。
- ・ログイン前の場合、ログイン画面でアカウントを作成します。続けて行う初期設定が完了すると、ペアリングの画面が表示されます。



ログイン後に、左の画面が表示されない場合は、ホーム画面の右上のメニューアイコンをタップします。



その後、「私の時計」→「新しい時計を追加」とタップします。

3 時計の右上のBボタンと右下のAボタンを同時に押す

時計の秒針が接続表示の「ACTIVATE」を指して、ペアリングが始まります。

ペアリングに成功すると

- 時計の秒針が素早く2回転し、時計とスマートフォンが接続されます。
- ・時計のファームウェアアップデートが可能なきは、すみやかに実行してください。ファームウェアアップデートは、メニュー画面の[私の時計]で行います。

ペアリングに失敗すると

- 通知音が鳴り、時計の秒針が接続表示の「RECONNECT」を指し停止します。
- ・ペアリングをやり直すときは、時計のいずれかのボタンを押し、接続表示を解除します。



接続と切断について

ペアリング後の時計とスマートフォンは、「接続」と「切断」の2つの状態のいずれかになります。

この時計とスマートフォンは、常時接続の状態にはありません。時計や専用アプリを使用する際に、必要に応じて接続し、iiidea(アイイデア)の使用、時刻情報などの情報の送信が済むと自動で切断されます。

- ・「接続」には、スマートフォン上で専用アプリが起動している必要があります(バックグラウンド動作も含む)。

■ 接続するには

- 1 専用アプリを起動する
- 2 時計の右上の⑧ボタンと右下の⑨ボタンを同時に押す
時計とスマートフォンが接続します。

■ 手動で切断するには

りゅうずの位置を①または②にします。

時刻受信について

時計は、スマートフォンに接続することにより時刻情報を取得し、自動で時刻・カレンダーを合わせます。

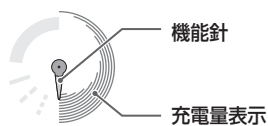
また、一日に一度、時計の表示時刻の午前3時以降に時計に光が当たると、切断中であっても、自動で一時的にスマートフォンに接続し、時刻・カレンダーを合わせます(自動時刻受信)。

- ・自動時刻受信には、事前にスマートフォンとのペアリングが必要です。
- ・時計がパワーセーブ中のときは、解除されたときに、自動時刻受信が始まります。
- ・次の場合、自動時刻受信は働きません。
 - りゅうずの位置が⑩以外のとき
 - 時計の充電量レベルが「0」(充電警告)のとき

時計で充電量を確認する

- ・充電量は、29段階で表示されます。

- 1 右下の⑨ボタンをくり返し押して、機能針を充電量表示に切り替える



時計の充電量表示について

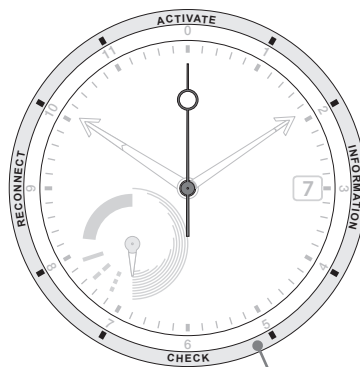
充電量は、機能針によるパーセント表示です。

| 表示 | 持続時間(およそ) | | 表示の意味 |
|------|-----------|--------|--|
| | 接続機能を使うとき | 使わないとき | |
| 100% | 7ヵ月 | 1年 | 十分充電されています。 |
| 50% | 5ヵ月 | 9ヵ月 | 半分程度の充電量です。 |
| 0% | 接続できません | 23日 | すぐ充電してください。 ・0%になると、時計の秒針が、2秒ごとに動くようになります。 |

- ・接続中に充電量が「0%」になった場合は、切断されます。ただし、時計機能は使用できます。
- ・充電警告機能が働いているときは、時計機能の一部も操作できなくなります。

時計の接続表示について

スマートフォンとの接続状態に変化があると、秒針が、対応する接続表示を指して停止します。



| 秒針による接続表示 | | |
|-------------|-------|-----------------------|
| 表示 | 秒針の位置 | 意味 |
| ACTIVATE | 0秒 | 接続プロセスの進行中 |
| INFORMATION | 15秒 | 専用アプリとの通信による表示 |
| CHECK | 30秒 | iiidea(アイイデア)の動作エラー表示 |
| RECONNECT | 45秒 | ペアリングの失敗/不意の切断 |

- ・接続表示は、りゅうずの位置が⑩のときのみ行われます。接続表示ができない場合は、接続表示ができるようになるまで、接続表示は保留されます。
- ・秒針が接続表示している間も、時計は正しい時刻・カレンダーを保ちます。
- ・「INFORMATION」表示は、専用アプリのアップデートをお知らせする場合もあります。

■ 接続可能な範囲について

時計とスマートフォンの接続可能な範囲は、最大でおよそ10 mです。壁などの障害物があると、より狭くなる場合があります。

また、時計を腕組みするなど体で遮らないようにしてください。

接続表示を解除する

時計を操作して接続表示を解除するまで、秒針は秒表示を行いません。

- ・操作によっては、事前に接続表示を解除する必要があります。
- ・解除した接続表示を再度表示させることはできません。

- 1 接続表示中に、いずれかのボタンを押す

接続表示が解除され、秒針が秒表示に戻ります。

- ・りゅうずの位置を変更しても、接続表示は解除されます。



iiidea(アイデア)を使う

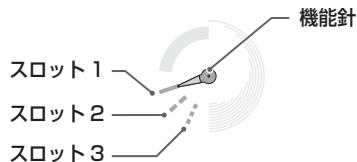
専用アプリには、iiideaを組み込む3つのスロットが用意されています。お好みの機能をスロットに追加し、時計から操作したり、時計上に表示させたりすることができます。

• iiideaについて詳しくは、以下のサイトをご覧ください。

<https://riiver.com/>

iiidea(アイデア)を切り替える

- 専用アプリを起動する
- 時計の右上のⓂボタンと右下のⒶボタンを同時に押す
時計とスマートフォンが接続します。
- 右下のⒶボタンをくり返し押して、使用するiiideaに切り替える
• 機能針が、使用するiiideaのスロットを指すようにします。



• 専用アプリ上でiiideaが組み込まれていないスロットは、スキップされます。

iiidea(アイデア)の使用をやめるときは

右下のⒶボタンをくり返し押して、機能針を充電量表示に切り替えます。

時計をフライトモードにする

飛行機の機内や病院内など、必要なときに時計の接続機能をオフにすることができます。

1 りゅうずの位置を①にする

秒針が、現在のフライトモードの設定(オン/オフ)を指します。
• スマートフォンと接続中の場合、切断されます。

| | 表示 | 秒針の位置 | 意味 |
|----|----|-------|--|
| オン | | 30秒 | フライトモード設定がオンになり、接続機能が使用できなくなります。自動時刻受信もできなくなります。 |
| オフ | | 0秒 | フライトモード設定がオフになり、接続機能が使用できるようになります。 |

2 りゅうずを回して、フライトモード設定を切り替える

オフ→オン: りゅうずを右に回します。
オン→オフ: りゅうずを左に回します。

3 りゅうずの位置を②にして終了する

通常の表示に戻ります。

■ フライトモード設定をオフにした後は

フライトモード設定をオフにすると、時計の接続機能が使用できるようになります。

スマートフォンと接続が必要なときは、接続操作が必要です。

• 時計の時刻とカレンダーを確認し、必要があれば、時刻・カレンダーを合わせてください。

時刻とカレンダーを手動で合わせる

1 りゅうずの位置を②にする

秒針が、15秒を指します。

2 右上のⓂボタンを2秒間押し続ける

秒針が、0秒を指します。

• 秒針が0秒を指したら、ボタンを離します。

3 右下のⒶボタンを押して、合わせる対象を切り替える

• 右下のⒶボタンを押すごとに、合わせる対象が次のように切り替わります。
針 → 時 → 日 → 年/月 → (始めに戻る)

• 針/表示が少し動いて、合わせる対象になったことをお知らせします。

4 りゅうずを回して、針/表示を合わせる

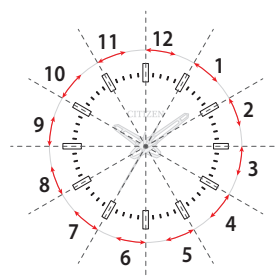
• 日表示が切り替わるときが、午前です。午前/午後を間違わないよう注意します。

• 機能針は、日表示に連動します。

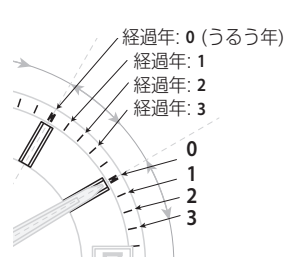
• 分針/時針/日表示は、りゅうずを素早く連続回転させると、針/表示が連続で動きます。動きを止めるには、りゅうずを左右どちらかに回します。

月は、下図に示した範囲で示されます。

各数字が月に対応します。



年は、うるう年からの経過年数で表示され、各月の範囲内での秒針の位置で示されます。



• うるう年からの経過年については、サポートページに詳しい解説があります。

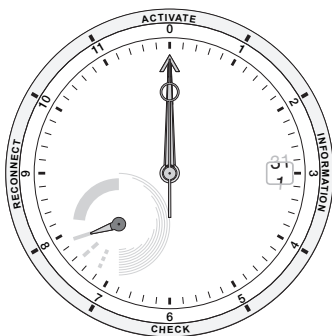
5 手順3と4をくり返す

6 時報に合わせて、りゅうずの位置を③にして終了する



基準位置を確認する

- 1 りゅうずの位置を②にする
秒針が、15秒を指します。
- 2 右下の④ボタンを4秒間押し続ける
秒針が、0秒を指します。
 - ・秒針が0秒を指したら、ボタンを離します。
 - ・各針/表示の動きが止まったら、次の手順に進みます。
- 3 基準位置を確認する
正しい基準位置は次のとおりです。
 - ・時針/分針/秒針: 0時00分0秒
 - ・機能針の位置: スロット1
 - ・日表示: 「31」と「1」の間



基準位置がずれているときは、次の「基準位置を修正する」の手順4に進みます。

- 4 りゅうずの位置を①にする
- 5 右下の④ボタンを押して、終了する

基準位置を修正する

- 1 りゅうずの位置を②にする
秒針が、15秒を指します。
- 2 右下の④ボタンを4秒間押し続ける
秒針が、0秒を指します。
 - ・秒針が0秒を指したら、ボタンを離します。
 - ・各針/表示の動きが止まったら、次の手順に進みます。
- 3 右下の④ボタンをくり返し押して、修正する針/表示を選ぶ
 - ・右下の④ボタンを押すごとに、次の順番で修正対象が切り替わります。
機能針/日表示 → 時針 → 分針 → 秒針 → (始めに戻る)
 - ・針が、少し動いて修正対象になったことをお知らせします。
- 4 りゅうずを回して、針/表示を修正する
 - ・日表示は機能針と連動します。機能針が5回転すると、日表示が1日ぶん動きます。
 - ・時針を修正するとき、見やすくするため、秒針と分針が左右に少し分かれます。
 - ・りゅうずを素早く連続回転させると、針/表示が連続で動きます。動きを止めるには、りゅうずを左右どちらかに回します。
- 5 手順5と6をくり返す
- 6 りゅうずの位置を①にする
- 7 右下の④ボタンを押して、終了する

オールリセットする

- 1 りゅうずの位置を②にする
- 2 右下の④ボタンと右上の③ボタンを同時に4秒間以上押し続けて、離す
ボタンから手を離すと、操作音が鳴り、オールリセットが行われます。

オールリセット後の各設定

| オールリセット後の各設定 | |
|--------------|------------------|
| 時刻 | 午前0時0分0秒 |
| カレンダー | うるう年の1月1日 |
| ペアリング情報 | ペアリング情報は削除されません。 |
| 接続状態 | 切断 |

オールリセットのあとは

オールリセットのあとは、基準位置の修正と時刻/カレンダー合わせを行ってください。

時計に保存されたデータを削除する

時計上に保存されたペアリング情報、身体データ、活動量計などのすべてのデータを削除し、工場出荷時に戻します。

- 1 りゅうずの位置を①にする
秒針が、0秒(フライトモード: オフ)または30秒(フライトモード: オン)を指して停止します。
- 2 右上の③ボタンを4秒間以上押し続ける
秒針が0秒を中心に大きく左右に動き、データの削除が行われます。
 - ・秒針が左右に大きく動いたら、ボタンを離します。

